

海外支援プログラム実験終了報告書

2018年10月21日

実験者1 (氏名・所属) : 寺田典樹 物質・材料研究機構
実験者2 (*1) (氏名・所属) :
研究代表者 (氏名・所属) : 寺田典樹 物質・材料研究機構
中性子散乱課題番号・装置名 : 18800 GPTAS
実験課題名 (*2) : DyMnO ₃ の高圧力相の磁気秩序の探査
利用施設・装置 : ILL IN20
利用期間 : 2018年9月24日 ~ 2018年10月3日
実験の概要 (*3) : マルチフェロイクス DyMnO ₃ の高圧高磁場相の磁気構造を解明するために、ハイブリッドアンビルセルを用いて高圧5 GPa での中性子3次元偏極解析実験をフランス ILL の三軸分光器 IN20 において行った。圧力は 2.3GPa と 4.5GPa, 5.0GPa の3圧力において、温度を変化させて中性子偏極率の測定を行った。圧力誘起磁気相転移に対応する中性子偏極マトリックスの変化を観測した。

(*1) 1人のみ支援を受けた場合は空欄でお願いします。

(*2) 物性研中性子共同利用で採択された課題名です。

(*3) 簡単な記述で構いません。この報告書の提出をもって、旅費が支給されます。また、実験終了後2ヶ月以内に物性研 ISSP-NSL Database (<http://quasi.issp.u-tokyo.ac.jp/db/index.php>)から activity report の提出をお願い致します。